

平野 広行 議員 市政会



問 八穂クリーンセンターの今後は

答 操業延長に向け組合で検討

問 旧津島市ほか11町村衛生組合が新焼却場の建設を弥富町に求めた経緯は。

答 環境課長 旧佐織町の清掃工場で操業期限が迫り、海部地区環境事務組合管理者および構成市町村から弥富市内での土地確保に陳情書が出された。

問 建設にあたり弥富町の対応は。

答 14回にわたり協議があり、平成9年に協定調印。

問 現在における弥富市への周辺対策費は。

答 約605万円。

問 市長は操業協定に対しての説明は受けたか。

答 市長 聞いている。

問 操業協定の中に2022年までに次期焼却場の建設地の決定とあるが、この問題に対する今後の取り組み

み、市長の考えは。

答 操業延長に向け、組合で検討する。

問 焼却施設受け入れにあたり要望事項として周辺農地の白地化があるがその取り組みは。

答 農業振興地域内で農用地区域でない地域。

問 都市計画課長 都市

計画マスタープランで工業系の土地利用を位置づけているが、埋設物などの課題があり断念。県と相談しながら都市的土地利用を検討していく。



▲八穂クリーンセンター（鍋田町）

問	中期財政計画・財政見通しとは
答	黒字化に向け事前に対策を

問 中期財政見通しを示す必要性和真意は。

答 財政課長 中長期的な視点に立ち、今後の財政運営を考え、事前に対策を講じていく必要がある。

問 2019年度からの市税減少の考えは。

答 税務課長 今後も増収は期待できない。

問 固定資産税の見直しは。

答 評価額の増減と通常減価による減収を見込んだ。

問 2021年度からの財政調整基金、繰り入れについての考えは。

答 財政課長 2024年度からは繰り入れができない見通し。

問 今後の公債費のピークは。

答 2023年度から2026年度。

問 今後予想される公債費負担比率の最大値は、また財政運営上警戒ラインは。

答 最大値は13・7%。警戒ラインは15%。

問 近隣市と比べ本市の公債費負担比率は。

答 平均は11・2%で、本市は10・4%。

問 31年度予算における財政黒字化に向けての取り組みは。

答 財政調整基金の繰り入れを少なくする予算編成。

問 市長総括を。

答 市長 事務事業を徹底的に見直し、よりいっそう行政改革を推進。